

# 2021年度 事業中間報告書

(2021年4月1日～2021年12月31日)

NPO イランの障害者を支援するミントの会

## 1、 イランの障害者に福祉機器を届け支援する事業

- イランの障害者に日本からコンテナ船で運んで福祉機器を2回(4月・9月)届けました。イランにデイケアセンターを開設するための物資(リフトや階段昇降機・各種車いす)や障害児デイサービスアフタープで利用する福祉用具(Wii・重さのあるひざ掛け)や知育玩具(けん玉)もイランへ届けました。



## 2、 イランの行政関係者や NGO・障害当事者にバリアフリーの技術を伝え、バリアフリー人材を育成し、障害理解を伝える事業

- 現地のコロナ感染が収束しないため、日本人専門家の派遣は行いませんでしたが、10月にパシャイ代表とスタッフがイランに渡航し街歩きを通じた歩道のバリアフリー点検を実施しました。また、オンラインを活用して定期的に現地の行政関係者や障害当事者と情報交換やネットワーク会議を実施しました。
- バリアフリーウォークラリーを日本のバリアフリー当事者リーダーとスタッフが神奈川県内で行い、バリアフリーマップを作成して現地の人たちの理解に使っています。また日本のバリアフリー専門家が東京都内などで実施している障害理解啓発活動をイランの担当者に情報提供しました。
- 障害理解のために作成したイラン版動画をイラン全土の福祉関係者やバリアフリーNGOと共有して障害理解啓発活動に役立てました。



## 3、 イランの障害者のQOLの向上と障害者の社会参加を進め、仲間づくりをおこなう、デイケアセンターを開設し運営する事業

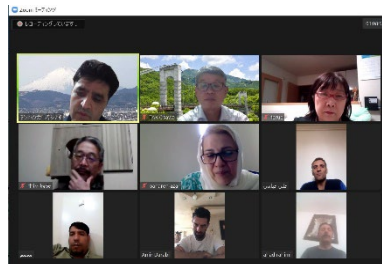
- アルボルズ州福祉省やカラジ市役所と連携し、イランミント障害者デイケアセンターを開設する準備を行いました。イラン内務省へのNGO登録は完了し、イランアルボルズ福祉省のデイサービスセンター開設登録を進めています。カラジ市内に開設する予定のセンターのバリアフリー確認の審査を受け、人員の登録を行い、必要な福祉機器や運営に必要な

物品の購入を徐々に進めています。

- キャラジ市の障害者の自立のために健康相談とリハビリや福祉用具の情報提供を、日本のピアカウンセラーや医療福祉関係者が定期的にオンラインで支援しています。また、日本の障害当事者と家族がイランに渡航し、車いすなどの福祉機器を提供し使い方を指導しメンテナンスを実施、キャラジ市の障害者の自宅を訪問して定期的に生活相談を進めています。

#### 4、障害児デイサービス「アフターブ」と連携し、障害児支援についての情報を提供し、コロナ下の健康管理やカレンダーづくりを通じた表現活動を支援しました。

- オンラインを通して定期的にアフターブの活動を支援し、日本の障害児デイサービスや特別支援学級教師と学習支援やものづくり活動・外出方法の情報提供を実施しました。
- アフターブに届けた非接触型体温計や手洗いチェッカーを利用して、コロナ対策と健康管理のためのワークショップを実施しました。



- アフターブの子供たちの描いた絵でイランのカレンダーを作成しました。このカレンダーはアフターブ関係者とイラン全土の関係者・日本の障害児を支援する関係者に配布します。



#### 4、日本とイランの人々の交流を図る多文化共生事業

- 神奈川県内で在日外国人と日本人が協力してオリジナル介護エプロンを約50枚作り、神奈川県内の障害児者や施設に届け利用していただいています。
- ミントの会オリジナルカレンダーを日本のスタッフが320枚作成し、日本の障害者や在日外国人・関係者に届け活動をアピールしました。
- 在日外国人が母国料理講座やユニバーサルスポーツ大会を2回実施し、交流して相互理解を深めました。



- HP・ブログ週 3 回・会報年 2 回・フェイスブック・YouTube・ワッツアップなどで適宜活動内容を広報しています。
- SDGsよこはま city 秋 のイベントに参加し、イランや JICA シニアボランティア(ミャンマーやタジキスタン)で活躍した理学療法士の活動を紹介しました。